

お申し込み  
お問い合わせはWEBで  
<http://jagss.jp>

mail: [info@jagss.jp](mailto:info@jagss.jp)

〒606-0803

京都府京都市左京区下鴨下川原町 62-4

リバーコート下鴨 1F

phone 075-744-1988

日独小児靴学研究会

Japan German Kids & Children Shoes Science Study Group

JAGSS

日独小児靴学研究会

・共同代表より

日本での靴の歴史はたった70年ほどです。その本質を商業主義に委ねてきたことで、——子どもの足は大切で、靴は重要である——ということなど考慮されずにきました。

ドイツ靴をはじめとする健康靴が入ってきて約30年、子ども靴は約25年。子どもの足と靴の重要性は徐々に知られつつありますが、保護者様たちがさまざまな知識を得ても必要な時に相談できる専門家やネットワークがなく、靴をきちんと見立ててくれる販売店も少なく、“靴文化”は育てられてこなかったのです。

近年、高まってきた“歩育・足育”という啓発活動によって少しずつ足と靴の重要性が浸透しはじめてきたように感じますが、これからは業界が一丸となって対策していく必要があるのではないかと痛感しています。

そこで、2016年1月、子どもの足と靴の正しい見地を“小児靴学”と位置づけ、スタンダードを構築し、横断的な連携ができる人材を育成することを目的に日独小児靴学研究会を設立し、第一期生を募りました。受講者には靴のメーカーや販売職に属さない人々も多くいます。

医療分野のみならず、全く別分野の国家資格を持つ方も、

「自分の子どもの健康な発達を考えた時に靴は大事だと知り、都内の有名靴店を多く訪ねたが、行く先々で異なるアドバイスをされることに納得できなかった。正しい知識を学ぶ場所はここしかなかった」と研修を受けています。

今年夏に小児靴カウンセラーがまた3名認定され、これでカウンセラーは計6名となりました。

日本における“靴文化”のゴールは、ご家庭での意識づけを軸に、保育・教育・医療現場等との横断的な他職種連携ができること、販売現場も、正しい知識を持ち、消費者にきちんと応えられる技能を習得することで結実するのだと考えます。

日独小児靴学研究会は、正しい知識の普及と各職域で役立つ連携ができるよう尽力していきます。皆さまのご賛同、ご支援とご参加を心よりお待ちしております。

日独小児靴学研究会 共同代表 塩之谷 香

伊藤 笑子



プライマリーコースで講義をする塩之谷共同代表



伊藤の実技を真剣に見つめる参加者



プライマリーコースで講義中の伊藤共同代表

# 2020年度 小児靴学プライマリー・募集要項

【日程／会場】 ※研修は全日9:00～18:30 予定

- 基礎1 2020年5月5日（火祝）・6日（水祝） 京都・ハートピア京都（会場以下全て）
- 基礎2 2020年7月18日（土）・19日（日）
- 基礎3 2020年11月7日（土）・8日（日）
- 基礎4 2021年2月6日（土）・7日（日）

※欠席の分は、次年度に振替で参加可能

【定員】 25名

【申し込み先】 WEBをご参照ください

【費用】 入会金 20,000円 準会員年会費 10,000円

プライマリー研修料金 388,800円 ※全て税込

分割の場合（3回）

159,600円×初回（申し込み時）

129,600円×2回（6月末・12月末）

## 日独小児靴学研究会（JAGSS）

共同代表： 塩之谷 香 伊藤 笑子

常任講師： 塩之谷 香（整形外科医）

伊藤 笑子（マスターシューアドバイザー）

ベーレ ルッツ（ドイツ整形外科靴マイスター）

島村 雅徳（義肢装具士）

外部講師： 北 純（整形外科医） 落合 達宏（整形外科医） 橋本 健史（整形外科医）

多和田 忍（小児整形外科医） 松田 隆（小児科医）

大谷 知子（靴ジャーナリスト）

日独通訳者： ベーレ 操

事務局： 曾根 巨元

所在地： 〒606-0803 京都市左京区下鴨下川原町 62-4 リバーコート下鴨 1F tel 075-744-1988

<http://jagss.jp> [info@jagss.jp](mailto:info@jagss.jp)

## 研修内容

### 第1章 小児の成長と発達

1. 小児の身体と発達
2. 小児の足部の成長
3. 小児の歩行と運動

### 第2章 基礎解剖学

1. 下肢の形態と構造 I（骨格・筋肉・関節）
2. 下肢の形態と構造 II（血管・神経・皮膚・爪）
3. 足部の機能
4. 立位と歩行

### 第3章 小児の疾患と整形外科的知識

1. 先天性疾患と足部変形
2. 後天的障害と足部変形
3. 様々な疾患による足部変形と歩行
4. 小児の皮膚と爪
5. 靴による足部変形と障害

### 第4章 計測・観察・分析・評価

1. 採型・採寸技術 I

### 2. 採型・採寸技術 II

3. 計測ツールと方法の正確性
4. 初期分析と観察 I
5. 初期分析と観察 II
6. 関節とアーチ機能
7. ROM 足部チェック手技
8. 総合的な分析と評価
9. 小児の歩行の観察 I
10. 小児の歩行の観察 II
11. 代表的な小児の足部変形の分析と評価
12. 代表的な小児の歩行障害の分析と評価
13. 経過観察と評価

### 第5章 小児靴の知識

1. 小児靴の役割
2. 小児靴の構造
3. 小児靴の分類と機能
4. 様々な小児靴の評価

### 第6章 小児靴のシューフィッティング

### 1. 小児の年代による靴の選択と適合

2. 小児の足部形態による靴の選択と適合
3. 靴の木型、構造による選択と歩行チェック
4. 小児の足部変形に対する靴の選択と適合 I
5. 小児の足部変形に対する靴の選択と適合 II
6. 小児の歩行障害に対する靴の選択と適合 I
7. 小児の歩行障害に対する靴の選択と適合 II

### 第7章 シューカウンセリングテクニック

1. シューフィッティングのフロー
2. 主訴・ヒアリング・問題の整理・検討・提案
3. 足部の評価とシューフィッティングの評価
4. 足部と歩行に問題のあるケースの検討
5. 様々な観点からの対応と靴の適合評価

### 第8章 ドイツ靴医学の基礎知識

### 第9章 医療現場・非医療現場での総合判断と関係法規

### 第10章 小児の足と靴の啓発活動